

ちょっといい山 2019/2/17/SUN

西脇市民の憩いの場・矢筈山 363m

山の虫クレマントクラブ（略称 YMCC） 川原健一 同行：川原薫

今年最初の山に入る。西脇の矢筈山。地元民が親しんでいる山だ。山頂まではいかないが、山麓にバリアフリーコースも設えられている。

登山口には広い駐車場があり、車を降りるとなだらかな道が山へ続く。案内板を過ぎると杉の植林の中の道となり、なだらかなまま峠に行き着く。そこそこの展望があり、風が通り夏は涼しそうだ。居心地が良いのに休みもせず、写真を撮るだけで通過。

登山道はここから明るくなり、時折展望が開け、西脇の市街地が見える。春先にはミツバツツジや馬酔木の花が咲くという。馬酔木は早くもつぼみを膨らませ、春を待ち焦がれている。



いつ来ても峠は気持ち良い

展望台で地元の方が街を見下ろしている。今日は全国高校駅伝大会新人戦がここ西脇で行われているとのこと。来るときに大会の幟をたくさん見た。あそこの交差点に、もうすぐランナーが来るはずだと指差して教えてもらうがなかなか来ない。仕方がないので頂上で見ようと進む。



展望台からの眺め



展望台からの眺め2



山頂小屋の佇まい

山頂には地元の方々がいかにも愛しているといわんばかりの佇まいの小屋が建てられている。上がり込んで振り向くと眺めは抜群だ。



山頂小屋からの眺め

この山に 1 回登れば地元の方の山の会の会員となることができ、千回登れば表彰してくれるのだという。2 千回も登った人もいようだ。テーブルと椅子が用意してあり、それらを使って早めの昼食とする。

交差点には相変わらずランナーは来ない。どうやら行ってしまったようだ。その代わりではないが、おそらく登る数を重ねているらしき人たちが小屋に来て、スタンプ表に印を押してさっさと下っていく。きっと今日、もう 1 回は登るのだろう。

昼食を終えて先に進む。趣のある山頂は小屋のすぐ裏だった。さらにその先に山城跡との標識がある広場。初日の出を見に大勢の地元民が登り来て、火を焚いて暖を採る所のような。ここから先はバリエーションルートとの表示がある。迷わずに踏み込んでいく。



矢筈山山頂

地図に示された下山道が見あたらない。どうやらあまり使われず、廃道になってしまったようだ。初登りなので無理をせず、同じく道はないが植木の踏み跡をたどり、山頂から2.3kmほど歩いて麓のお寺さんにたどり着いた。



全国高校駅伝新人大会のアンカーが走り行く

道に出ると駅伝コースになっていて、ちょうどランナーが最後の勝負をかけるところ。いいタイミングで下りてきた。嫁が盛んにエールを送る。生駅伝を楽しみながら駐車場に戻った。



P近くの松岡稻荷神社は小規模だが荘厳だ

帰りはこの界隈に来るたびに素通りしていた官兵衛（かんべ）の湯に浸かりに行った。

温泉成分を溶かし込んだ沸かし湯とのこと。玄関から浴場まで畳敷きの快適な浴場でゆっくりと汗を流して帰路に就いた。



官兵衛（かんべ）の湯

【コースタイム】

南池P 10:01
 10:18 峠
 10:42 矢筈山山頂小屋 11:19
 11:22 山頂
 12:00 295m 先のコル
 12:30 車道
 13:04 南池P